

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和5年2月1日

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	適切な基準は満たしております。 その日の利用人数や年齢によってスペースを分けたりレイアウトを変更しながら、学習をおこなうスペースとその他の活動を行うスペースを分け環境設定をおこなっております。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0	法令で定められた適切な人員を配置し、情緒面・学習面などを考慮し、利用児童に合わせた療育をおこなっております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	事業所内には構造上、段差が存在しますが目印を用いた注意喚起や行動時の見守りを必ずおこない、生活動作に直結する場所には直感的にわかりやすく、判断しやすい工夫をおこなっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	毎日の掃除・消毒の徹底及び、適時空気の入れ替えをおこなうとともに、空気清浄機の利用にてフリーンな環境を保っております。 また職員はもちろんのこと、児童への手指の洗浄・消毒、マスクの着用を指導させていただき、玩具やトイレの消毒も日々おこない、衛生環境には十分に配慮しております。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	事業所内での意思疎通・情報共有を円滑にするために、日々の打ち合わせ内容の共有を徹底し、児童の現状把握と目標を周知して療育方法や業務改善について話し合いをおこなっております。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	年に1回以上のアンケートをもとに保護者様のご意見やご要望の把握をおこない、全職員共通理解のもと今後の業務改善につなげております。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開してまいります。	今年も公式Webサイトで公開してまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	コロナ禍のため、外部研修への参加はできておらず、今年度は本社で作成された研修動画を用いた研修を実施し、資質の向上に努めております。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	利用開始前に保護者様に説明や確認をおこない、課題を把握したうえで児童の状況や保護者様のニーズを支援計画に反映させております。また、全職員で定期的に話し合いをおこない、児童の特性に合わせた支援計画を作成させていただいております。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	統一されたアセスメントツールを使用して、モニタリングで状況の把握し、保護者様のご意向を確認しております。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	ガイドラインに沿ったうえで保護者様と面談を定期的におこない、ガイドラインが示す項目から必要なものを選択し、課題に向けた支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	児童発達支援計画を全職員が把握するために定期的にケース会議をおこなっております。また普段から情報共有が出来るよう、打ち合わせの実施や日誌の活用をおこなっております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	児童発達支援計画に沿って、児童や保護者様のニーズに応じた活動ができるよう職員が持つそれぞれの専門性を生かしてプログラムの立案をおこなっております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	ケース会議を定期的に実施し、その都度プログラムの見直しをおこなっております。また各職員からのアイデアをもとに季節の行事も取り入れながら活動プログラムが固定化しないよう工夫をしております。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	児童一人一人の特性や発達段階、保護者様からのニーズに沿った計画を作成しております。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	サービス開始前に話し合い、前日の振り返りと当日の予定やプログラムについて、意見交換や情報共有をおこなっています。また、当日参加できない職員も後日確認ができるように記録を残しております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	支援終了後、全職員への周知が難しい場合は翌日のサービス開始前に前日の支援の振り返りをおこない、情報共有をおこなっております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	利用記録を毎日作成し、作成した書類は毎日チェックをおこない、週末や月末にもチェック作業をおこなうことで記録作成を徹底しております。日々の利用記録は継続した支援に役立て、ケース会議や支援計画立案に際しての参考資料として活用させていただいております。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的にモニタリングをおこない、目標の達成状況を保護者様と確認・共有をおこなっております。また、モニタリングにて保護者様のご意向をお聞きし、児童の現状を把握したうえで計画の見直しを判断しております。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	担当者会議には児童の状況をもっとも把握している児童発達支援管理責任者と、その児童とかわかりが深い職員が同行しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	関係機関と積極的に情報共有や相談をおこない、連携した支援ができるように努めております。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	各専門機関と連携し情報交換をおこなっております。また、他事業所とも意見交換ができるように連携を図っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	必要に応じて訪問や電話交換で支援内容や活動内容等の情報共有をおこなっております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	7	今年度に関しても感染症拡大もあり、各専門機関と連携しての情報交換の機会を作ることができておりません。	感染症収束後には積極的に連携をとりながら、関と連携しての情報交換の機会を作ることができると心掛けてまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7	今年度に関しても感染症拡大もあり、本事業所から発信する機会は持てませんでした。が、保育園や幼稚園に通う児童も多く、園で障がいのない児童との交流があると考えております。	感染症収束後には保護者様のご意向を参考に検討してまいります。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	7	今年度に関しても感染症拡大もあり、会議等への参加は控えていただいております。	感染症収束後には、積極的に協議会等に積極的に参加し、児童への支援につなげていけるよう努めてまいります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	事業所利用時は連絡帳を活用することで児童の状況や課題を保護者様と共有できるよう努めております。また、送迎時には口頭でもお伝えさせていただくことで共通理解を図っております。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	7	0	保護者様からの子育てや児童についてのお悩みやご相談を受けた際には、必要に応じて面談・訪問をおこない、助言できる体制を整えております。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時にご納得いただけるよう丁寧な説明を心がけております。また、契約後にもご要望があれば改めてご説明し、ご納得のうえでご利用いただけるように心がけております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	ガイドラインから利用児童に合わせて必要な支援を選択し、児童発達支援計画を作成し、丁寧な説明をおこない、保護者様の同意を得ております。	
	34	定期的な、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	ご相談があれば連絡帳でのやり取りや、送迎時に丁寧にお話を伺い、アドバイスに努めております。また、継続して対応していく必要のあるお困りごとには全職員で共通理解を持ち、統一した対応を心がけております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	今年度に関しても感染症拡大もあり、父母の会の開催することはできておりません。	感染症収束後には保護者様のご意向を参考に検討してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知すると、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	保護者様からの申し入れには適切に対応し、解決に向けて迅速・適切な対応ができるよう整備に努めております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	公式Webサイトでの情報発信や季節ごとにお便りの発行をさせていただいております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	個人情報の取扱いには全職員が慎重におこない、鍵付き書庫での保管、破棄する際のシュレッダーの使用を徹底し、細心の注意を払っております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	意思疎通や情報伝達には常に配慮しております。児童とは必要に応じて会話カードを利用するなど配慮し、児童自身の意志表現を大切にしています。また、保護者様とのやり取りにおいては出来事を具体的に伝えるようにしております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	今年度に関しても感染症拡大もあり、地域住民の方を招待する企画運営はできておりません。	感染症収束後には保護者様のご意向を参考に検討してまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	事業所に各種マニュアルを設置し、いかなる状況でも全職員が対応できるよう備えております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	地震・火災・風水害・不審者対応等を想定した避難訓練を定期的におこなっております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	保護者様と十分に確認をおこない、緊急時には全職員で対応できるよう情報共有に努めております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	現在のところ食物アレルギーのある児童の利用はありませんが、アレルギーについては事前のアセスメントで聞き取りをおこない、定期的に情報の確認・更新をおこなっております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	ヒヤリハット事例が生じた際には直ちに全職員で状況の確認・分析をおこない、再発防止に向けた改善提案をおこなっております。	